

景観まちづくり研究会 第4夜

～まちの成り立ちから景観まちづくりを考えよう～

2011.11.08 練馬まちづくりセンター

“住景観”における景観まちづくりアイデア検討します。

前回までの景観まちづくり研究会は、西大泉をケーススタディに、みどりあふれる農地とその周辺の住宅地で、「農ある風景を活かした景観まちづくり」に関わる活動やそこに参加できる仕組みづくりについて検討してきました。

今回から、ケーススタディの現場を中村周辺に移して、住宅地を基本としつつ、ご近所で始められるまちづくりアイデアについて検討していきます。

まずは、まちの成り立ちから見つめなおしてみようと、近隣にお住まいの奥村さんや、練馬の地形や歴史にお詳しい平田さんに中村のまちについてお話をいただきました。



ケーススタディの現場「中村」は歴史のまち、水のまち

中村北、中村、中村南の3つの町には、戦前の耕地整理によってつくられた3つの町を横断・縦断する格子状の道があります。地区内に入ると、静かな住宅地が広がり、緩やかなカーブを描いた道や、暗渠化された水路跡など、集落や農地の面影を残す道を歩くことができます。また神社や寺院など、昔から守り継がれてきた歴史的資源の多いまちでもあります。

鎌倉道（下練馬道）

南は鎌倉、北は奥州にまでつながる鎌倉道（かまくらみち）は、練馬区を通る古道の一つ。中村の東側を南北に通っています。



中村北公園の東側の道は鎌倉道。



練馬区最大の庚申塔良弁塚。

南蔵院

南北朝時代に建てられたと伝えられるお寺。境内には古い建物が多く、鐘楼門は区指定の文化財となっています。



南蔵院南側は、水路跡のらしき道がある。



南蔵院正門。緑が多い境内。

中新井川緑道

中新井川を暗渠化して作られた緑道。ケヤキ並木・サクラ並木、緑に覆われた中央分離帯が線状に連なっています。



学田公園から千川通りへと続くケヤキ並木

中村公園から続く水路跡



小学生が並んで歩ける広い歩道（暗渠化された水路）

中村公園から学田公園に続く水路跡。歩道が広く、緑が多い道。景観まちづくりのタネとなりそう？



学田公園とつながる部分は遊歩道として整備されている。



緑の多い中新井川児童遊園



田んぼ跡の学田公園

中村で考えたい!

景観まちづくりのタネ

地図や写真を眺めながら聞いた奥村さんや平田さんの「中村解説」、普段感じている中村の印象から、ここで始めることができそうな景観まちづくりについて、みなさんで意見交換をしました。まちの様々な資源を活かす意見が相次ぎました。



★まちの歴史を活かす

- ・中村は歴史的資源が多いまち。これらを結びつけた楽しい散歩はできないだろうか？
- ・まちを歩きながらまちの成り立ちがわかると面白い。
- ・まちの歴史や文化を発掘して、中村全体を博物館（フィールドミュージアム）に！



★まちの道の使い方を考える

- ・地区の内と外で道の使い分けができないか？（内側の道は、地域住民優先道路など）
- ・道に向かい合う人たち同士でできるまちづくりアイデア

★まちのみどりを活かす

- ・庭を活用した景観まちづくりの可能性はあるのか？
- ・中村はみどりの多いまち。みどりのつながり（住宅地やお寺、公園のみどりなど）を活かしたまちづくりアイデアはないか？

★地域の人に働きかける仕組み・仕掛けを考える

- ・マンション住民への畑の貸し出しなど、新住民と地域との新しいつながりができるアイデアは？
- ・年齢層の高い住民が多い。時間的な余裕のある世代の方々が楽しんでまちづくりをするアイデアは？
- ・中村の住空間としての良さを残せるよう地域を誘導できる活動の仕組みを考えたい。

行ってきました！
中村まち歩き



10月31日、総勢14名で中村を歩いてきました。歴史的資源にふれながら、地形から昔のまちの面影を想像して歩くまち歩きとなりました。「歩きやすいまち」「みどりが多いね」などの声が多く聞こえてきました。次回の研究会では、まち歩き参加者のご意見ご感想をベースに景観まちづくりアイデアを検討します。お楽しみに！



次回の研究会

景観まちづくり研究会第5夜

～中村を舞台に“住景観”のまちづくりアイデアを検討しよう～

まち歩きで感じたこと、発見したことを分かち合いながら、中村のまちの資源を活かした景観まちづくりのアイデアや参加をよびかける仕組みづくりについて検討します。

とき・ところ

2011年11月16日(水) 19:00～21:00
練馬まちづくりセンター3階 会議室

